

グラウトホール

樋門用ステンレス製グラウト調査孔



平成10年11月30日に(財)国土技術研究センターより発行された「柔構造樋門設計の手引き」の中では、7.4.3地盤の沈下・側方変位対策の項に「地盤の沈下・側方変位対策を行う場合は地盤性状との適合性、堤防への影響、堤防の耐震性向上等を考慮して適切な工法を選定する」と記載があり、現在の樋門には沈下調査ができるグラウトホールが標準的に設置されています。

当社のグラウトホールは耐久性に優れたステンレス製で、圧密沈下や浸透水流を調査することができます。

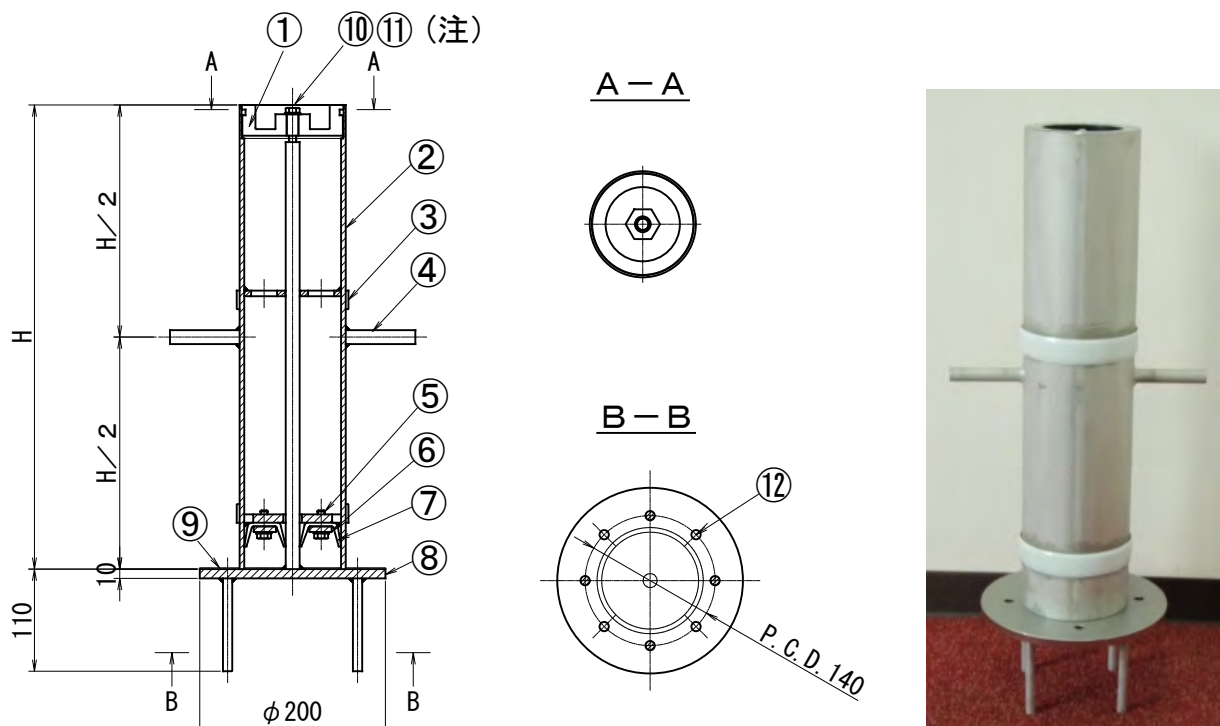


西武ポリマ化成株式会社

特 長

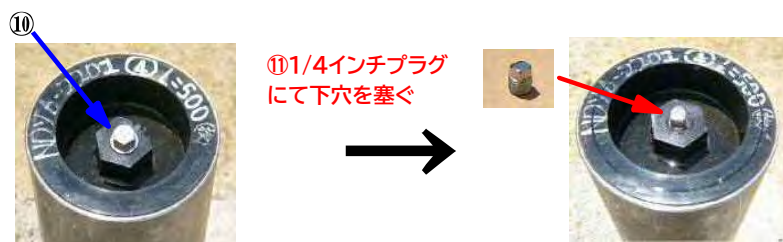
1. 本体管内に土砂や水が浸入しない構造になっています。
2. 固定用丸棒がついているので取り付けが容易です。

構 造



No.	部 材 名	材 質	No.	部 材 名	材 質
①	上蓋	合成樹脂	⑦	シールゴム	
②	本体管 (100A)	SUS304	⑧	碇着台 (沈下板 φ10丸鋼付)	SUS304
③	ﾌﾟﾘﾝｸﾞｼｰﾄ t3×20mm幅×2箇所		⑨	剝離剤	
④	固定用φ15丸棒	SUS304	⑩	固定用M8六角ボルト (ワッシャー付)	SUS304
⑤	M8六角ボルト (ワッシャー付)	SUS304	⑪	1/4インチプラグ	SUS304
⑥	押え板	SUS304	⑫	φ10 水抜き孔	

(注)⑩固定用M8六角ボルト(ワッシャー付)はコンクリート打設後、除去する。(施工方法 3 参照)



施工方法

1. 製品の設置

均しコンクリートを打設する前に所定の位置に据え、固定用丸棒に鉄筋等を用いて固定します。

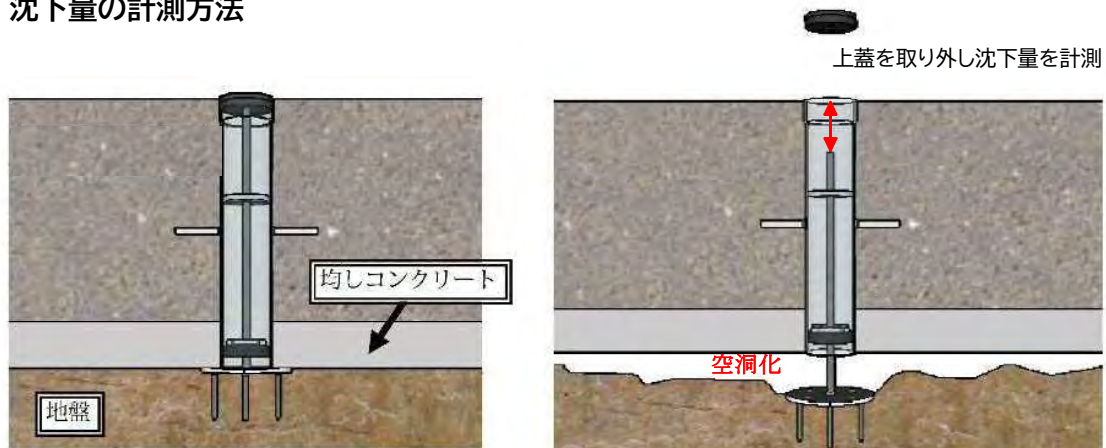
2. 養生材の撤去

本体工コンクリートを打設する前にブチルゴムシートの外周に貼ってある養生用のポリエチレンシート(白色)を剥がします。

3. 礎着台(沈下板)固定用M8六角ボルトの除去他

本体コンクリート構築後に上蓋のM8六角ボルト、ワッシャーを除去し、上蓋に仮止めしてある1/4インチのプラグにてM8六角ボルトの下穴を塞ぎます。

沈下量の計測方法



※グラウトホールは均しコンクリートの厚さ+底板コンクリートの厚さで設定します。

各種機能試験

グラウトホールは各種試験を行い、性能を充分満足していることを確認しています。



水圧試験



水圧 0.15MPa 異常なし

柔構造樋門の安全をサポートする西武ポリマ化成の河川資材



関連資材

ビーシージョイント® U型 N型



コンクリート構造物継目部に設置される伸縮可撓継手で、樋門工事に採用されています。

フレックスパイル FP-Z型



従来の鋼支持樋門に採用されている鋼矢板用可撓継手で、護岸用も製作しています。

耐圧ゴムプレート S-L型



柔構造樋門継目用耐土圧板で、従来品と同等の性能を維持しながら、より小さく軽量化を実現、経済性・施工性が上がりました。

ブラックシール



東京都水道局からの要請により日本で最初に開発されたゴム製の止水板で、耐震タイプとセンターバルブタイプがあります。

※製品の形状・寸法は改良のため予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

代理店



JQA-QM4493



西武ポリマ化成株式会社

本社	〒103-0027	東京都中央区日本橋 3-8-2	電話(03)3527-9814	FAX(03)3527-9828
大阪支店	〒542-0081	大阪市中央区南船場 4-6-10	電話(06)6252-8381	FAX(06)6252-0891
名古屋支店	〒483-8145	愛知県江南市小郷町西ノ山 55	電話(0587)54-2136	FAX(0587)54-2175
九州営業所	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東 1-14-34	電話(092)441-8595	FAX(092)481-0774
北海道営業所	〒060-0062	札幌市中央区南二条西 6-12-1	電話(011)219-3020	FAX(011)219-3022
名古屋工場	〒483-8145	愛知県江南市小郷町西ノ山 55	電話(0587)54-2111	FAX(0587)54-2124

ホームページアドレス <https://www.seibu-p.co.jp/>

C225.05